



磐座信仰を伝える船山神社の拜殿と陽石（右中段）

平群町三里で



(住所) 平群町三里475
 (祭神) 船山神、天兒屋根命、住吉大明神
 (交通) 近鉄平群駅から東へ徒歩約

20分
 (拝観) 境内自由
 (駐車場) 無し
 (電話) 無し

船山神社 (平群町)



船山神社は平群谷の東側に位置し、平群町三里の旧安明寺村と旧中之宮村の氏神として祭られています。後方の矢田丘陵の八合目付近には丸木舟状の三つの巨石（長さ約6〜8㍎、幅約2㍎）があり、神が乗って天下ってきた「船石」として信仰されてきました。

由緒は明らかではありませんが、平安時代の「延

喜式」の神名帳に記載のある古い神社です。船石付近に祭られていた「船上神社」を近世に山麓の船山神社に合祀したと伝えられています。その船山神社も以前は南西約200㍎の旧中之宮村にありましたが、1

915（大正4）年、旧安明寺村の春日神社の境内地に船山神社の名で遷座しました。こうした経緯で祭神は船山神、春日神社の天兒屋根命、住吉大明神です。本殿は小ぶりの春日造り風です。平群谷で巨石を神の依代とする磐座信仰の古社

として西の石床神社（同町越木塚）、東の船山神社と並び称され、共に豊穰を祈る対象として信仰されています。船山神社の旧社地の東側に船石に続く道があります。現社地の拜殿前の石段の右側には、男性器を模した「陽石」があります。旧社地から移されたとい、大きくて、印象的です。

（奈良まほろばソムリエの会員 喜多村英夫）

天下り伝説の「船石」